

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 送気送水チューブ 70356000

ウォーターチューブ

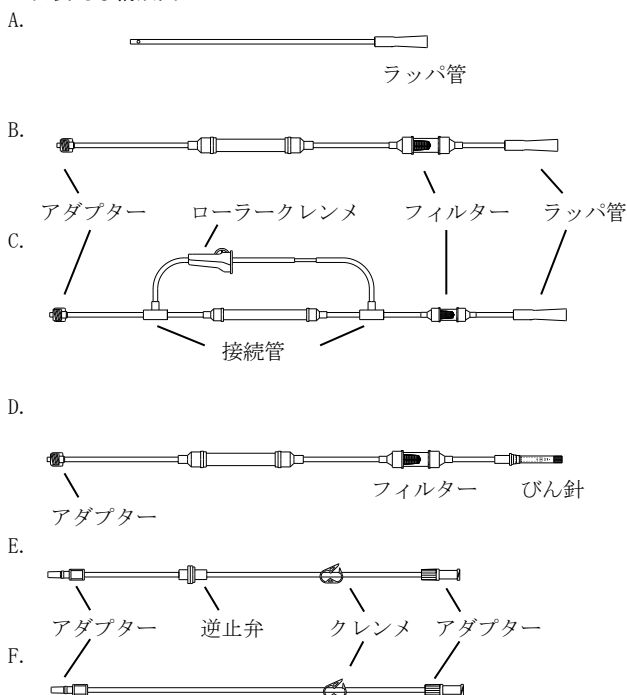
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止
＜使用方法＞
- 逆止弁については、高濃度の薬液の投与に使用しないこと。
[弁機能が作動しなくなるおそれがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

＜代表的な構成図＞



- 本品はポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))を使用している。
- 各構成部品は、省略又は追加される場合もある。

【使用目的又は効果】

- 本品は、送水装置又は送気装置と、内視鏡又は内視鏡用処置具等との接続に用いる柔軟性のあるチューブである。
- 本品は滅菌済みであるので、そのまま直ちに使用できる。

【使用方法等】

＜組み合わせて使用する医療機器＞

- 本品は、下記の医療機器との組み合わせ専用であるため、他の医療機器と組み合わせて使用しないこと。
 - 内視鏡用送水装置 : ウォーターブリーズ WP1
(認証番号: 220AHBZX00007000)
ウォーターブリーズ2 WP2
(認証番号: 302AGBZX00071000)
 - 内視鏡用送水タンク : ウォータータンク
(届出番号: 09B1X00004000130)

- 下記の説明は一般的な使用方法である。従って、細部については医師の臨床経験に基づき、手順の追加、変更が必要な場合がある。

- ①本品を使用する前に、包装及び本品に汚れ、破損等がないことを確認する。
- ②汚染に十分注意し、包装内から本品を取り出す。
- ③使用前に、接続する器具の径と本品の径が合うことを確認する。
- ④Aを「ウォータータンク」にしっかりと接続する。
- ⑤「ウォーターブリーズ WP1」「ウォーターブリーズ 2 WP2」のポンプカセットに装着する。(識別マークにあわせて装着すること。)
- ⑥B、Cの場合) ラップ管を「ウォータータンク」に、アダプターを内視鏡の鉗子チャンネル等にそれぞれしっかりと接続する。
Dの場合) びん針を薬液バッグ等に、アダプターを併用する器具の接続部にそれぞれしっかりと接続する。
- ⑦B、Dの場合) フットスイッチを操作して、送水を行う。
Cの場合) ローラークレンメが下流側の接続管付近に位置していることを確認し、閉塞させる。フットスイッチを踏み、メインルートに水を充填させた後、ローラークレンメを徐々に開放させながら製品内の空気を完全に抜く。内視鏡の副送水ノズルからの送水を確認し、適切な送水量に設定する。

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- 本品は、「ウォータータンク」と「ウォーターブリーズ WP1」あるいは「ウォーターブリーズ 2 WP2」と組み合わせて使用するため、その他の医療機器と組み合わせて使用しないこと。
- 包装を開封したらすぐに使用し、使用後は感染防止に留意すること。
- 可塑剤であるフタル酸ジ(2-エチルヘキシル)が溶出するおそれがあるので注意すること。
- 使用中は本品の破損、接合部の緩み、液漏れ等について定期的に確認すること。万一異常が認められた場合は、直ちに新しい製品と交換すること。
- 使用中はチューブのねじれやキックによる閉塞に注意すること。
- 乱暴な取扱いをすると、破損・亀裂のおそれがあるので、製品の取扱いは十分注意すること。
- 脂肪乳剤及び脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤又はアルコール等の溶解補助剤等を含む医薬品を投与する場合、及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合は、ひび割れについて注意すること。[薬液によりひび割れが生じ、液漏れや空気混入のおそれがある。]
- 内視鏡鉗子チャンネルのゴムキャップ(栓)部が弱っている場合及び傷んでいる場合に液を送水すると、ゴムキャップの部分より液が漏れるおそれがあるので注意すること。
- ローラークレンメを全開にして操作した場合、送水できない場合があるので注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- 水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

【使用期限】

- 包装(ラベル)に使用期限を表示している。[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売元】

フォルテグロウメディカル株式会社
電話番号 0283-22-2801